

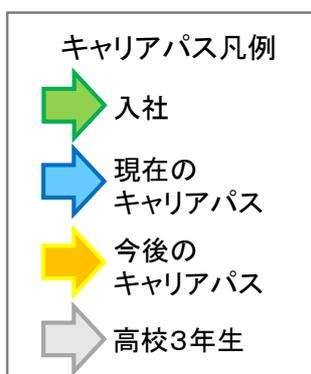
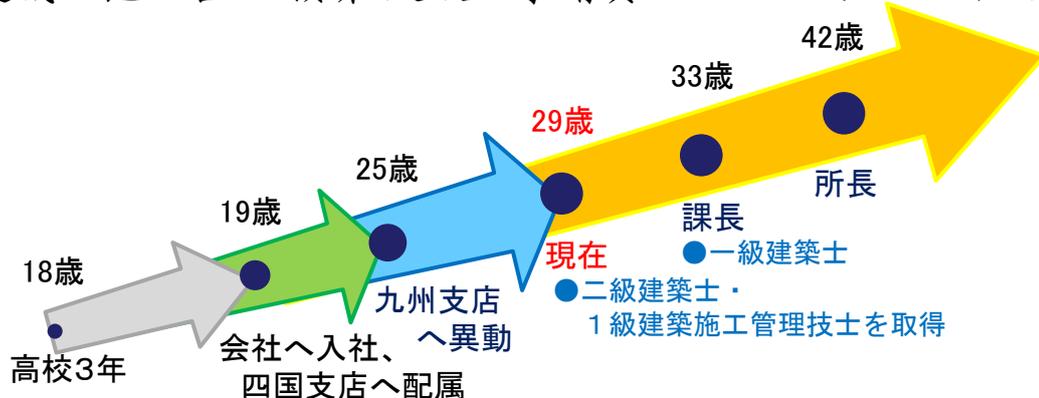
建設とは、地球最大規模の『ものづくり』
人が想像できることは、必ず人が実現できる！



施工管理 (建築)

近畿・施工管理 積算 建設工事請負

職歴 11年 (平成21年度卒業)



社員平均年齢25歳！社員の社員による社員の為の会社

【これまでのキャリアパス】

就職活動の中で、建築の工事現場を纏める施工管理（現場監督）の仕事を知りました。その中でも弊社は、スーパーゼネコンの主要グループ会社であり、その圧倒的スケール感の仕事にすぐさま興味を覚えました。宮崎工業高校からも先輩たちが毎年入社されている事もあり、自分もそこを目指すキッカケになりました。

現在は入社11年目、10年経って一人前と言われるこの世界ではまだまだ若手ではありますが、少しずつ中間管理職を目指したマネジメント業務も日々過ごしていく中で意識しています。

また、弊社は社員の育成に非常に力を入れており、導入教育・年次研修など様々な教育体制が整備されています。また教育指導員制度や地区別活動など、社員の自主的活動による相互研鑽にも取り組んでおり、まさに『社員が財産』社員の社員による社員の為の会社と言えます。

ONE TEAMで取り組む！世界に一つだけの単品受注生産

【現在の仕事の魅力】

巨大現場であれば、一日に入場する作業員が千人を超える事業所も、多くの企業・職種が入り交じりひとつの建物をつくりあげていく、まさにONE TEAMの取り組み、世界に一つだけの単品受注生産をそのチーム力で達成します。その道のりは長く、険しく、苦労は絶えませんが、完成した達成感はその全てを凌駕し、万感胸に迫る想いです。

今後の目標は、1級国家資格の早期取得を目指し、自身の更なるキャリアアップに努めます。

社会に貢献できることを強く実感できる仕事

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

前述したこの仕事の魅力について、建設業の使命は、

『自然災害から守る』『社会基盤の整備』『人々が豊かに暮らす為の環境をつくる』

建設というものづくりを通して、安心・安全で快適な社会を実現する事にあります。建設業は大変なイメージがあるかもしれませんが、今は世の『働き方改革』の後押しもあり、ICTツールの発展や生産性向上に向けた取り組みがなされ日々進化しています。

興味のある方は是非、我々と一緒にこれからの100年をつくってみませんか。

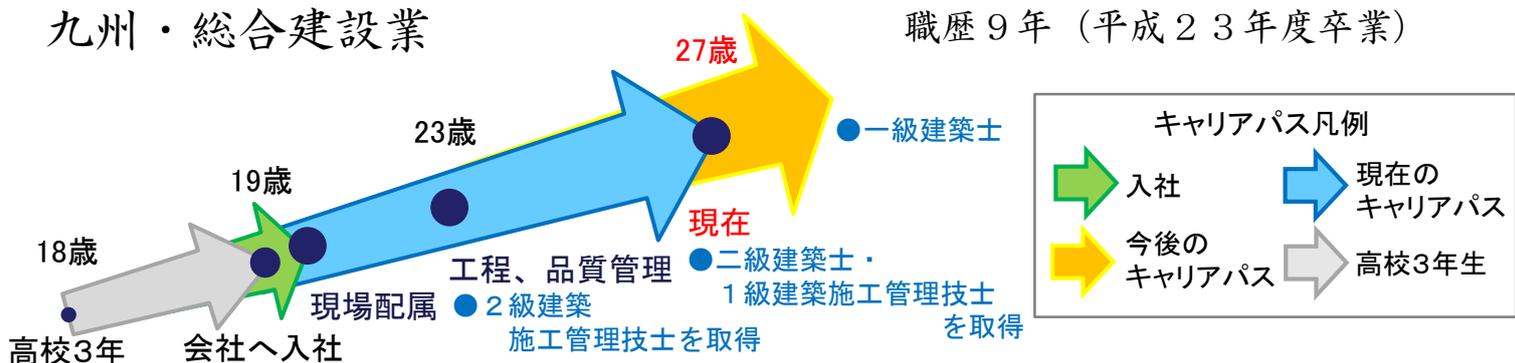
信用が日本最大を目指し、
地域に貢献できる施工管理者となる！



建築施工管理技士

九州・総合建設業

職歴9年（平成23年度卒業）



現場でたくさんの経験を積み、施工管理者に

【これまでのキャリアパス】

高校で建築について勉強する中で、学校や病院など大きな建物を建てることに携わりたいと思い、建設業への道を決めました。その中でも着工から竣工まで携わることのできる施工管理職として地元である九州の為に働きたいと思い九州最大のゼネコンである弊社に入社しました。

入社してまずは1ヶ月ほど社会人としてのマナーや基礎知識を学び、5月からは現場に配属になりました。3年目頃までは毎日現場で工事写真や段取りなど、工事の流れや知識を学びます。4、5年目から工程表や施工図などを任せられ、施主との打合せにも参加し、責任のある業務を任せられます。現在は現場を指揮すると同時に、若手社員の指導・育成を担っています。また、20代での一級建築士取得を目指し、資格取得にも力を入れています。

自分が管理した建物が地図に残り、多くの人たちの暮らしをよりよくする

【現在の仕事の魅力】

施工管理職の魅力は、「地図に残る仕事」と言われるように、完成した建物は何十年も残り、地域の方々の生活の一部となり多くの人々が利用していきます。お客様の要望に応える為に、時には職人さんに無理をお願いしなければならないときや、各所での調整で苦勞することも多いですが、その分、竣工を迎えたときの「達成感」は人一倍感じられます。竣工時にお客様から頂く「ありがとう。」の言葉で、これまでの苦勞がすべて報われ、この上ない喜びを感じられるのが魅力です。先ずは一級建築士取得を目指し、お客様から信用される知識を身に付けられるよう日々勉強していきます。

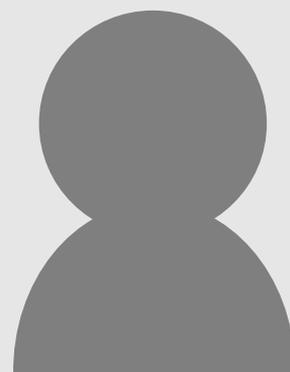
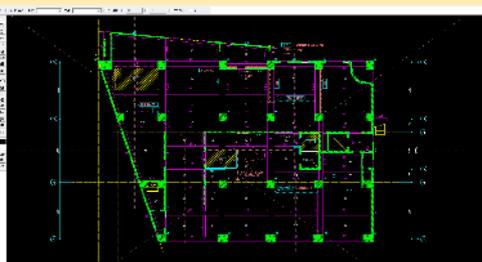
きついことも多いが、達成感是他業種に負けない

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

私たちの仕事「ものづくり」それはチームで成し遂げるものです。躯体工事から内装・仕上げ工事まで延数千人もの人と一緒に建物をつくり上げていきます。職人さんはその道のプロなのでプライドが高く、時には意見の食い違いでぶつかることもありますが、お互いが本気で良い建物をつくりたいという思いがあるからこそです。そのような職人さんと一緒につくり上げた建物が完成したときには、言葉で表すことのできない達成感・喜びを味わうことができます。

近年の日本は地震や豪雨、火山噴火など自然災害が多発しています。災害に強い建物が求められています。これからの日本を支える業種の一つとして、社会に貢献できる「ものづくり」を一緒にやりましょう！

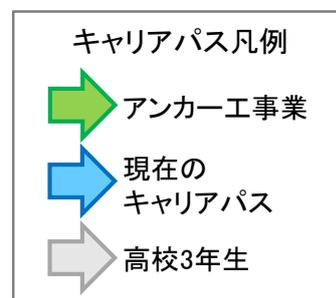
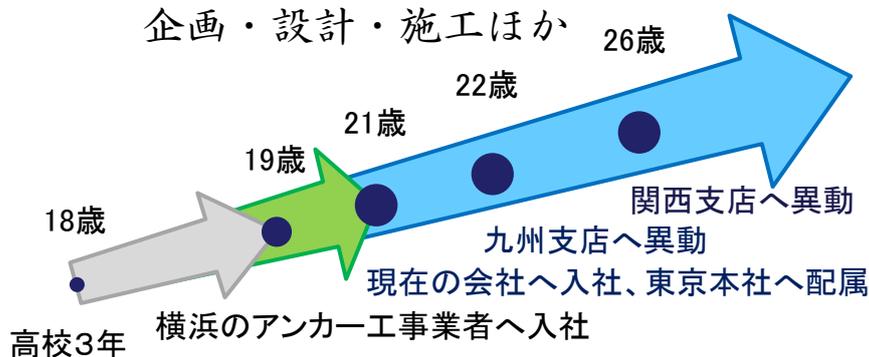
中学生の時に見たテレビ番組で建設業に憧れ、 高校から建築を目指して建設業へ！



施工管理

関東・建築及び設備リニューアル工事の
企画・設計・施工ほか 26歳

職歴6年（平成23年度卒業）



工業高校建築科からアンカー工事業者へ入社し、施工管理職へ転職

【これまでのキャリアパス】

建築に興味を持ったのは、中学校の時に見たテレビ番組でリフォームの楽しさを見たことがきっかけでした。そのまま建築科へ入学し、就職の際に当時東北大地震の直後だったこともあり耐震工事（アンカー工事）を請け負う会社へ職人として入社しました。その後、職人よりも施工管理で建築へ携わることに興味を持ち、20歳の時に転職しました。

施工管理としての仕事は、職人の時と同じ気持ちで「現場だから同じ感覚で仕事すればいいだろう」と考えておりましたが、いざ会社・上司からの教育を受けていると全然違った目線で現場に立たないといけないことがわかりました。入社して6年たちますが、未だに職人さん側への気持ちに寄って仕事する事が多く、「現場管理」としての仕事を理解して飲み込むまで結構時間かかっています。しかし、毎日楽しく過ごすことができています。

現場のビフォー・アフターを見ることができお客様の笑顔が見れること

【現在の仕事の魅力】

施工管理のため、先頭に立って現場を回す立ち位置につくことが多く、一番お客様と接する機会が多いです。そのため、施工中はお客様との間で予算とクオリティのバランスを調整することが有り大変な思いをすることもたくさんあります。最後は、お客様から感謝の言葉をいただくほか喜んでくれる顔を見ることができるので、それが今のやり甲斐となっております。

私が勤務している会社がリニューアルをメインに受注しているため、今後もお客様に喜んでいただけるようなものを提供し続けていきたいです。

幅広い年齢層の方とコミュニケーションが取れ色々学べる

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

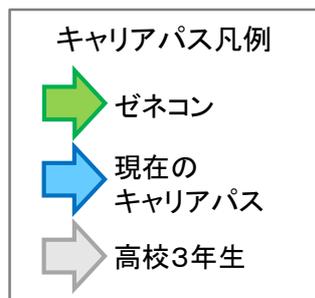
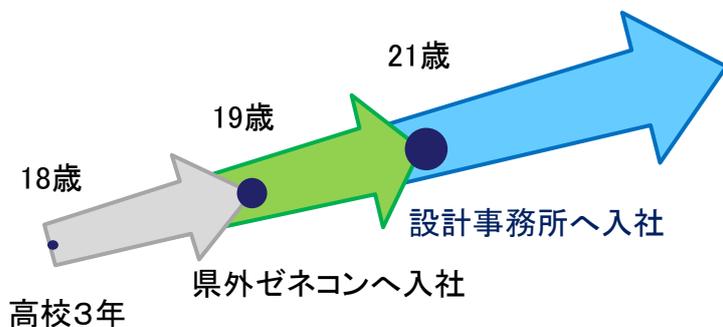
建設業は学歴なく仕事を始めることができる業種のため、現場ごとにさまざまな方とお話しすることができます。建設業の中で職種がかなり分かれているため、さまざまな方と接する中で厳しい言い方しかできない人もいるかも知れませんが、基本的には皆さん面倒見の良い方が多いので、分からないことなどがあっても気軽に話しかけていろいろな情報を自分のものにするのが可能。自分の人生の幅がかなり広がりプラスになることが多いので、興味がある方は是非建設業の世界へ飛び込んでください。



設計スタッフ

県内・
建築設計及び工事監理に関する業務
補償コンサルタント業務

職歴4年（平成25年度卒業）



本当に興味のある業務を行いたかった

【これまでのキャリアパス】

高校入学時から建築設計に興味がありました。高校卒業後はものをつくる仕事をしたいと考えゼネコンに入社し、施工業務を2年間行いました。しかし、やはり設計がしたいとの思いが強くなり、ゼネコンを退社して、現在の設計事務所に就職しました。

最初は上司の行う物件のサブとしての仕事が多かったのですが、現在は、小型物件や内装工事の設計、監理をメインに行っています。

何もない所から創ること

【現在の仕事の魅力】

何もない土地に自分の想像した物や、空間を創り出せることが設計の魅力だと思います。パースを描いたり、模型をつくったりして、建物の見え方や空間イメージ、人の流れ等を形にしていき、それに合うように図面を仕上げていきます。自分で設計したものが想像通りに出来上がったときに、この仕事の魅力を感じることができました。

何事にも挑戦すること

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

設計事務所といっても図面を描くだけでなく、模型をつくるほか、フォトショップやイラストレーターを使い絵を描いたりすることもあります。今後は3Dで建物を表現していくことも増えると思います。

新しいことに触れることで、自分のスキルも上がり、建築と関係ないようなことでも役に立つことがあるので、何事にも挑戦する気持ちを持ってほしいです。

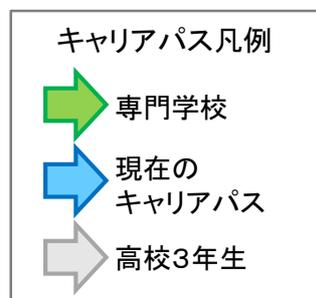
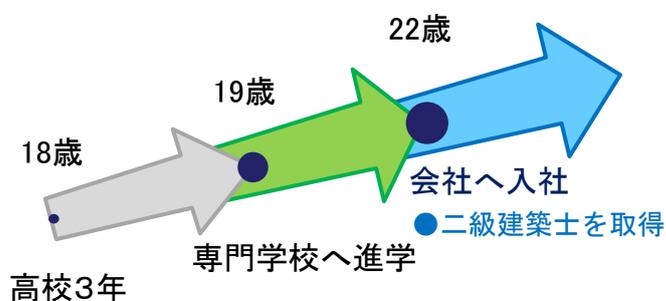
女性ならではの提案ができる 一級建築士になるのが目標！



設計職

県内・建築の企画、調査、設計、管理
確認申請等申請業務の手続き代行

職歴2年（平成27年度卒業）



【これまでのキャリアパス】

高校卒業後、漠然と建築現場で働きたいと思っていた私は、就職を希望していましたが、「まだまだ建築業界は男性社会だから、男性に負けないような資格をたくさんとってから現場で働きなさい。」という家具建具職人をしている父のアドバイスから、専門学校の建築デザイン学科に進学することを決めました。正直、高校での3年間は建築を勉強しているという実感はなく、ただ「学校楽しいなあ」という程度で、こんなにも奥深く、学べば学ぶほど魅了されるものだと気づいたのは専門学校での3年間でした。

専門学校在学中に参加した住宅コンペで優秀賞に選ばれました。自分の努力が有名な建築家の先生方に認められ嬉しかったのがキッカケでその頃から建築士を目指すようになりました。現在は地元の設計事務所に就職し、尊敬できる上司に囲まれながら仕事ができる環境にとっても感謝しています。

【現在の仕事の魅力】

だんだん任せてもらえる仕事が増え、自分の描いた図面通りに建物が建っていく工程を1から見ることができるのが設計の魅力だと思います。

また、実際に利用する方の喜ぶ姿を見ると、これからの仕事への活力に繋がります。暖かく、緑に囲まれた場所に自分で設計した自邸をつくるのが今の私の目標です。

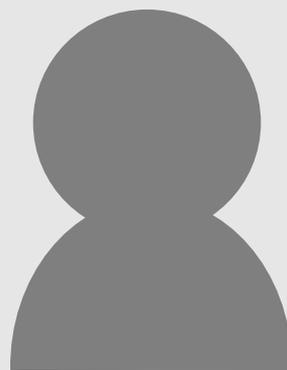
自邸を自分で設計するのも魅力の1つだと思っています。

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

就職後も資格取得に向け、勉強の日々ですが新しいことを知るたびにワクワクして刺激的な充実した毎日を過ごすことができます。

建物は1人では完成しません。設計、現場管理、職人さんなどをはじめ、たくさんの人が関わっています。ぜひ1つに絞らずにいろんな業種を見てみてください。

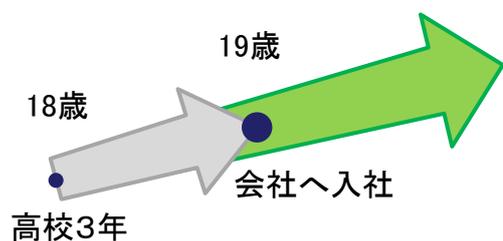
形に残るものを築くことのできる誇らしさ、
建物が完成した時の達成感！



建築作業所の管理監督者

県内・総合建設業

職歴4年（平成28年度卒業）



これまで携わった現場

- ・温泉施設
- ・ホテル改修工事
- ・社屋新築工事
- ・ビル新築工事

キャリアパス凡例



興味のあることを仕事に

【これまでのキャリアパス】

建築科に入学した時から建築に興味はありましたが、「卒業後は建築関係の仕事に携わるだろう」という大まかなイメージしかありませんでした。しかし、現場見学等を通じて建設業について調べていくにつれて、「自分自身で考えたことが形になっていくことのやりがいや、工事が完成した時の達成感は、他の何にも代え難いものではないか」と思うようになりました。そして、数ある建設業の仕事の中でも現場管理の仕事に関心が湧き、会社見学にて職場の人の働く姿や人柄に感銘を受け、現在の職場に入社しました。

どの仕事も同じことだとは思いますが、私も最初は何もわからずうまくいかないことばかりでした。現場管理の仕事は初めてのことの連続で、刺激的な毎日ですが、やりがいのある充実した毎日を過ごしています。

日常にあるものに携わる

【現在の仕事の魅力】

毎日私たちが当たり前のように目にしている建築物。その「当たり前の風景」の完成に向けて、スケジュール・予算・資材・環境・現場周辺の地域の方々への影響等、あらゆることに配慮しながら、たくさんの職人さんを動かしていくのが、私たち現場管理の仕事です。

責任が重く、大変な仕事ですが、誰もが目にするランドマーク的な建築物の施工に携わり、それが完成したときには、家族やお世話になった人への恩返しにもなると思っています。

「今あるものは当たり前ではない」ということを知り、新しい日常を造り上げることのできるこの仕事は、とても誇らしく、魅力があると感じています。

人とのつながりもこの仕事のおもしろさ

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

同じ会社の先輩・後輩はもちろんですが、一緒に作業して下さる職人さんとコミュニケーションをとる機会が多くあります。仕事の話だけでなく、時には世間話をしたり、悩みや相談まで聞いてもらうこともあり、絆を深めることができます。そのようなつながりを多く持つことは、とても心強いことです。

建設は決して一人では成し得ない仕事です。工事完成のためには、先輩や職人さんいかに頼ることができかが大切になります。人とのつながりを通じて、自分自身の成長を実感できる、そういった日々を楽しむことができるのがこの仕事のおもしろさの一つです。

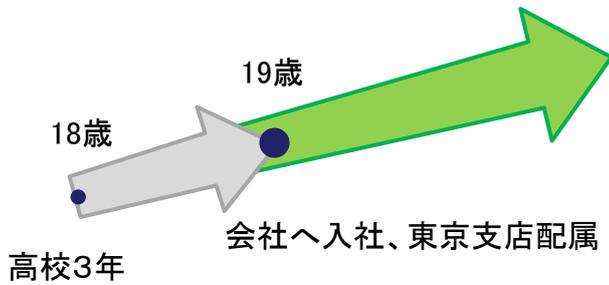
就職1年目で辞めたい。。。
今は、現場所長になりたい！！！！



建築職（施工管理）

関東・総合建設業

職歴4年目（平成28年度卒）



キャリアパス凡例



入社



高校3年生

施工管理を理解しないまま就職

【これまでのキャリアパス】

私は施工管理がこういった仕事なのか分からず、正直とにかく給料が良く有名な会社に行こうと思い就職しました。建設業には、きつい、きたない、危険という3Kという言葉があります。正直その通りでした。現場で作業をするのは職人さんだと思われそうですが、若いうちは汚い仕事もまかされます。そして現場が終わると私達はまだ事務作業が残っているので毎日必ず残業の日々です。竣工がせまってくると、休みがなくなったり徹夜で働いたりすることもありました。1年目で辞めようと思いましたが、そんなに早く辞めるのはダサいと思い気力で続けました。すると、2年目からは少しずつ仕事を覚え余裕ができ、休日は趣味でストレスを発散したりと楽しく、充実した毎日を過ごしています。現在は2級施工管理技士、二級建築士の資格取得にも力を入れながら頑張っています。

自分の思い通りになること

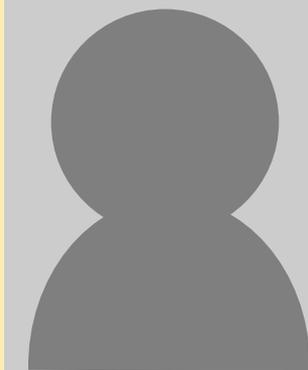
【現在の仕事の魅力】

主に施工管理は施工図を作成したり、工程を考えたりしますが、若い時に任される仕事は安全です。職人さんが工程通りに安全に作業できるように、足場を組みます。こういった仮設工事を任されます。自分で図面をみたり現場をみながら組み方を考え図面を作成、そして材料を発注して職人さんに指示をします。完成したものが図面通りになった時は達成感が得られます。上手くいかないこともあります。職人さんと相談しながら進めていくのも、勉強になり楽しく思います。

やる気がないとやっていけない

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

1年目から仕事ができる人はいません。でもやる気がない人には仕事も教えてもらえなくなります。建設業の所長は気が荒い人もいます。でも言っていることは正しいです。何を言われても、頑張れる人が向いている業界です。きついこともたくさんありますが、建物が完成した時の達成感がすごいです。

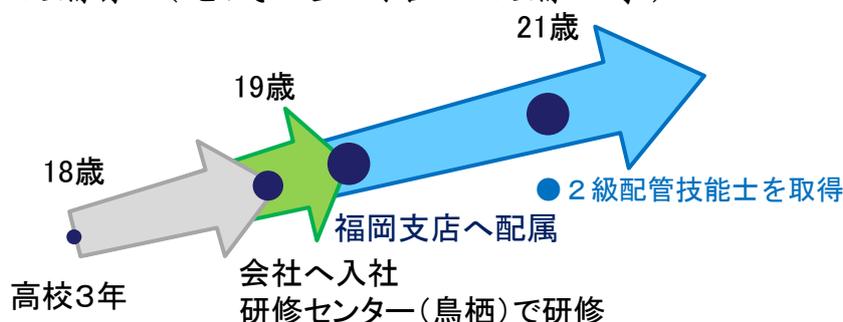


空調管工事技術職・技能現業職

九州・

職歴4年（平成28年度卒業）

総合設備業（電気・空調管の設備工事）



キャリアパス凡例



建築物に命を吹き込む

【これまでのキャリアパス】

小さい頃から自分の手を使ってものをつくるのが好きで、その好きなことで人の役に立ちたいと思い弊社に入社しました。

入社後は5ヶ月間みっちり配管技術を学びました。その後現場に配属されてからは、エルダーという、いわゆる先輩と現場を回りながら仕事を覚えていきました。最初のころは「誰でも出来るだろっ」と思ってしまう仕事が多く、少し嫌でした。しかし、今では任せてもらえる作業が増え、トイレを設置したり、水道から水が出るようにパイプを繋げていく配管作業をしています。たまに、一人で現場に行きお客さんと直接会って打ち合わせをすることもあります。笑顔で仕事をするのが出来ているのでとても満足しています。

様々な分野の仕事に関われる

【現在の仕事の魅力】

設備配管業は配管だけが出来るようになるのではなく、トイレ・洗面台・ルームエアコン等を取り付けるほか、アーク溶接を使って鉄を溶接したり、時には鉄筋工や左官のような仕事もします。そのため、仕事に飽きるという人が配管設備業には少ないような気がします。ちなみに自分は飽きやすいタイプなのですが、今のところこの仕事に飽きたことはありません！多くの仕事を覚える難しさはありますが、その点が魅力のひとつでもあります。

これから、私たちの世代が現場のリーダーやサブリーダーとして活躍することが多くなってきます。そのため、配管技術のスキルアップと後輩の育成に力を注いでいきます。

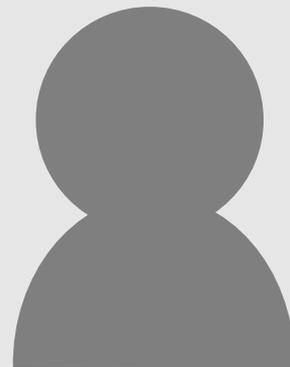
自分だけの仕事を

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

設備配管業の職人として仕事をするということは“手に職をつける”ということです。一朝一夕で習得できるものではありませんが、習得すればどこへ行っても設備屋さんとして働くことが出来ると思います。

また、自分が携わった建築物が自分たちの生活の中に残っていく喜びを是非皆さんにも感じてもらいたいです。いつか同じ現場で一緒に働けることを楽しみにしています。

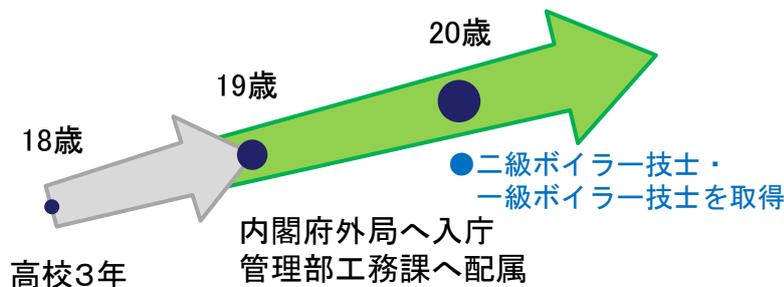
皇室に携わりながら、仕事をしていくことに
興味を持ち入庁！



建築保全管理係

関東・国家公務員（内閣府外局）

職歴3年（平成29年度卒業）



キャリアパス凡例



入庁



高校3年生

高校での経験を生かして技術系公務員へ

【これまでのキャリアパス】

ももとは、高校で学んだ建築を活かし地元で技術系公務員になることを目指していました。ある日、高校の先生から話を聞き、弊庁が技術系公務員を募集していることを知りました。また、宮崎工業高校の卒業生が私よりも1年前に入庁していたため、仕事内容等の話を直接聞くことができ、この職種に興味を持ったことも入庁するきっかけでした。

入庁して一年目は、修理・修繕などが主な建築系と、ボイラーや空調機関係の管理が主な機械系の二種類の仕事を覚えました。仕事に必要な一級ボイラー技士を取得するなど、1年間で多くのことを学びました。二年目になると、ある程度の仕事は任せられるようになったため、仕事を覚えるために使っていた時間が修理・修繕の技術を上げる時間になりました。そして、三年目にはより多くの仕事を任せられるようになりました。

現在は、皇居内の設備が昔と比べて変わってきているため、仕事の効率を上げたり、間違いをなくするために同じ係で共有できる新しい図面を作成しています。

皇族の方々のご活動をお支えする仕事

【現在の仕事の魅力】

弊庁は、他の官庁とは違い、皇族の方々のご活動をお支えするなど、皇室に携わって仕事することが魅力だと思います。

今後は、より技術の向上を目指しながら、仕事の効率を上げることができないか考えて仕事をしたいと思っています。

皇室に携わりながら、技術の向上を目指す

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

皇室に携わりながら、多種多様な仕事のため多くの知識・技能を身に付けることが出来る仕事です。

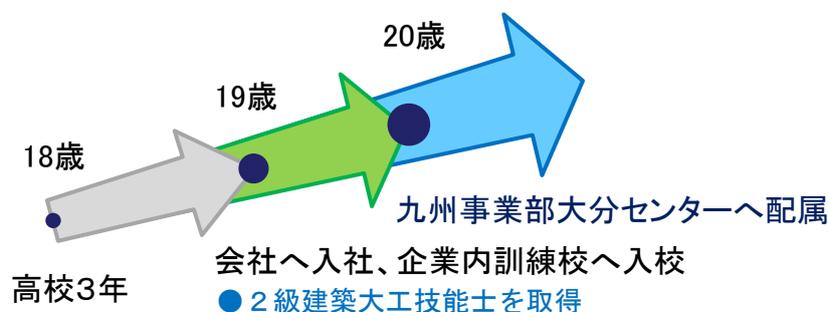
幼いころからの夢である、一流の大工を目指し入社！



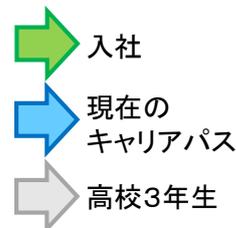
木造建築大工職

九州・注文住宅建築請負業

職歴3年（平成29年度卒業）



キャリアパス凡例



入社後、専門校にて基本知識を学び、現場配属へ

【これまでのキャリアパス】

幼い頃から父親の仕事について行き、その中で大工という職業を初めて目にしました。その頃ものづくりが好きだった私は、家づくりに興味を持ち、高校でも就職したら大工になるという気持ちは変わりませんでした。そして、現在の会社に入社しました。

入社後は、建築技術専門校（企業内訓練校）で身体づくりや基本知識を身に付ける為の学習をし、現場配属で大分に来ました。現在はまだ現場配属2年目で、先輩やベテランの大工さんに教えてもらいながら住宅施工に従事しています。

最近では任される仕事も増え、充実した毎日を送っています。

お客様の住む家を自分の手で

【現在の仕事の魅力】

この仕事の魅力は、お客様が将来、永きに渡ってお住まいになる家を自分の手で施工できることです。また、自分が施工した家その場所に一生形として残るので、その点も魅力です。

この会社では、現場配属から6年で大工として独立することができます。私も現在、将来独立に向けて日々の仕事で腕を磨いています。

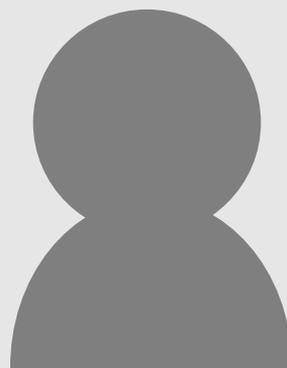
これからの建設業界を引っ張っていける人材に

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

建設業と聞くと、肉体的にも精神的にも厳しいというイメージがあると思いますがそれは間違いです。もちろん楽な仕事ばかりではないのですが、どれをとってもやりがいのある仕事ばかりです。また、現場にもさまざまな職種の業者さんが出入りするのでそこで繋がりができていくのも社会で生きていく上で大きな武器になります。

これから建設業に関わっていこうと考えている方は是非これからの建設業界を引っ張っていける人材を目指して下さい。

まちづくりに興味を持ち、
高校卒業後に市役所へ入庁！



行政技術(建築)

九州・市役所 (政令指定都市)

職歴2年 (平成30年度卒業)



キャリアパス凡例



入庁



高校3年生

まちづくりに携わる仕事

【これまでのキャリアパス】

高校在学中に県外のある都市を訪れた際、建物やまちの様子にあこがれを持ち、その都市のまちづくりに携わりたいと思い、市役所に入庁しました。そして、交通局施設部施設課に所属し、市営地下鉄の駅舎の管理を行っています。市内の住宅等の管理に携わると考えていたところ、少し特殊な場所への配属となりました。そのため他の建築職とは違って契約事務関係等の仕事もあるうえに、交通局特有の決まり等もあり、初めて知ることばかりでとても大変でした。

しかし、入庁より一年が経って二年目職員になり、基本の流れについては大抵把握し個人で持てる案件も徐々に増えてきました。現在は、自分の案件を進めながら、少しずつ他の職員のサポートにもまわりつつ、余裕を持つことを意識して仕事を進めることができます。

市民の方々のために

【現在の仕事の魅力】

現在の仕事は、自分の携わった工事の成果物が実際に目に見え、それをたくさんの方に利用していただける点が魅力だと感じます。また建築職の中では、より市民の方々と密接な立場にあり、色々な観点からの意見を頂くなどして、自分自身が成長できることや、感謝の言葉を頂けることもあるのも魅力の一つだと感じています。

今後は、2級建築士をはじめとした、この先様々な職場で仕事をしていくうえで役に立つ、資格の取得にも力を入れながら業務を進めていきたいと考えています。

楽しみながら知識を高めていく

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

高卒で新しい地の市役所に入庁するという一方で、不安も沢山ありましたが、知識・経験が多く優しい先輩や上司ばかりで、楽しく仕事をすることができます。また、市役所では建築職だけでも沢山の所属があり、職場の異動もあるため様々な環境を経験し、知識を増やしながらか働くことができます。

他にも、市民の方々と密接な立場にあることから、大変なこともあります。とてもやりがいのある仕事ですので興味のある方は是非入庁して欲しいと思っています。

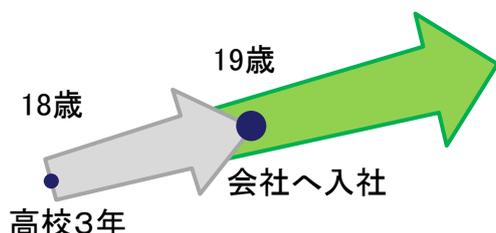
幅広い建設業から見つけた、私の職業！



作図技能職

関東・
エクステリア&ガーデンの設計・施工

職歴1年（令和元年度卒業）



キャリアパス凡例



入社



高校3年生

エクステリアとの出会い

【これまでのキャリアパス】

私がエクステリアと出会ったのは部活動でした。高校時代、私は建築技術部に入部し、木材を加工したりコンペに応募したりしていました。その時に庭のコンペ募集があり、私も取り組もうとしたのですが、駐車場やアプローチ、広場等の空間しか浮かばず、条件であった土地を十分に計画することが出来ませんでした。だからこそ、他にどんな空間が必要なのか、どのように計画したら素晴らしい庭となるのかとても興味を持ちました。

入社してからは、週に一回の研修で新しいことを少しずつ学んでいます。最初は過去の物件で実際に作図をしたり、CADの使い方を覚えました。今は小規模な庭の作図をしています。小規模の中にも考えなくてはならないことが多くあり、とても大変です。だけど、毎日新しい発見があり、充実した日々が過ごせているので、とても楽しいです。

ひとつひとつ違うエクステリア

【現在の仕事の魅力】

エクステリアに限ったことではありませんが、一つも同じ庭にならないところが魅力だと思います。敷地の大きさ、必要な空間、土地のレベル等条件が全部違って、新しいことを考え続けられるところがこの職業の好きなところ。また、表札やポスト、タイル等を多くの種類がある中からカタログをめくって似合う物を選ぶところも楽しいと思える一つの魅力です。

実務を始めてからはまだ三ヶ月ほどしか経っていないので学ぶことばかりですが、実際に出来上がった所を見るのが今から楽しみです。ゆくゆくは大きな敷地の設計を任せてもらえるように多くのことを吸収し、自分の知識にしていきたいです。

より多くの職業を知ってほしい

【建設業に興味を持つ後輩へのメッセージ】

建設業は本当に多くの人達の手で成り立っています。図面を描く建築士さんに、現場で建てていく職人さん達はもちろんのこと、その図面で本当に大丈夫なのかチェックをする人、鉄筋を加工して現場まで運ぶ人、私もまだまだ知らない職業が多くあると思います。私がエクステリアを見つけたのは部活動でたまたま募集があったコンペなので、様々な所に目を向けて、自分に合う仕事を、本当にやりたい！と思える仕事を見つけてもらいたいです。お客様に何年も何十年も寄り添う建設業は本当にやりがいがあって、大きな達成感が得られるので是非この気持ちを感じてもらいたいです。